

## 計画書(案)に対する食育推進会議委員からの意見等一覧表

番号		ページ	意見内容
1	野々村委員	全体的に	第2次計画の基本目標が悪化した項目について、食教育の実践が行われたにも関わらずこのような結果に至った理由など。(方法、回数、内容・・・)食育を実践する担い手が少ないのかもかもしれませんね。よろしく願いいたします。
2	林委員	全体的に	行政の取組として、様々なライフステージの対象者へ離乳食講座等、学ぶ機会を市民に提供されていますが、それらの参加者数などを会議の際に大まかにで構いませんので、ご紹介いただければと思います。今後市民の参加を促進する広報の方法などご検討なさっているようでしたら、合わせてご紹介いただければと思います。
3	靄田委員	朝食欠食について	朝食の欠食目標にもあがっており、人が元気に活動していくためには朝食は重要である。紙しばい、指人形などをつかって、親子で正しい理解してもらえるような働きかけをしてみてもどうか。
4	靄田委員	39, 40	正しい箸の持ち方などの食事のマナー 数値目標にもあがっているため、より具体的な取組内容についてもどこかにあげていただければと思う(親が正しく使えない場合もある)今注目されている日本型食生活とあわせて進めていくと効果につながるのではないのでしょうか？
5	靄田委員	46	食事バランスガイドの活用促進 食事バランスガイドは理解が難しいため、活用する場合は丁寧な説明が必要。わかりやすくするDVDなどを作成し、配布してはどうでしょうか？(佐世保の地産地消からめて)
6	靄田委員	40, 41	ホームページなど 特に修正というわけではありませんが、情報提供だけで状況の改善につながるか疑問です。具体的取り組み内容について記載したほうが良いのではないのでしょうか。
7	事務局側より修正	33,34(農業畜産課より)	現状値と目標値の変更 9 地産地消の推進及び生産者との交流促進について 主要直売所売上額 現状値(平成27年度) 5.7億円 → 5.9億円 主要直売所利用者数 現状値(平成27年度)552,667人→550,000人 (目標に結びつく項目の設定が必要ではないか。)
8	事務局側より修正	65,66(農業畜産課より)	子どもと保護者を対象とした体験活動 主な事業:市民農園 内容:貸農園形式により農業体験を実施し、体験活動による心身の健康増進を図ります。 ※再掲も含む ↓ 主な事業:ふれあい農業の推進 内容:農業体験などの機会をとおして、食への関心を高め、心身の健康増進を図ります。
9	事務局側より修正	65,66(農業畜産課より)	地産地消の推進 主な事業:佐世保市産農水産物認定品目 内容:消費者が安全で安心できる新鮮な佐世保農水産物を手に入れることができるよう、本市独自の農水産物認証制度による佐世保産農水産物の認知度向上を図ります。 ↓ 主な事業:地域農産物の消費拡大 内容:消費者が安全で安心できる新鮮な佐世保農水産物を手に入れることができるよう、直売所等が行う各種イベントを活用し、佐世保産農水産物の認知度向上を図ります。